

# 令和6年度第1回八千代市図書館協議会 会議録

## 1 開催日時

令和6年11月19日（火） 午後1時30分から午後3時35分まで

## 2 開催場所

八千代市教育委員会 2階 大会議室

## 3 出席者

### ◇八千代市図書館協議会委員（敬称略）

委員長	大木 めぐみ
副委員長	飯田 良
委員	長島 秀一
委員	中村 史子
委員	築山 敏子
委員	矢野 佳代子
委員	内田 玲香
委員	寒河江 達雄
委員	天正 祐二
委員	中村 唯

### ◇事務局

教育次長	伊藤 栄治
生涯学習振興課長	井澤 延浩
生涯学習振興課副主幹	花嶋 政彦
中央図書館主査	佐藤 麻里子
中央図書館主任司書	三澤 槇子
中央図書館主任主事	長谷川 友美
大和田図書館長	荒井 裕子
大和田図書館主査補	武田 智子
八千代台図書館長	石川 武志

TRC八千代中央図書館長	(株) 図書館流通センター職員	片村 瞬
勝田台図書館長	(株) 図書館流通センター職員	池田 優加理
緑が丘図書館長	(株) 図書館流通センター職員	森本 三七男

#### 4 公開又は非公開の別

公開

#### 5 傍聴人定員及び傍聴人数

傍聴人定員 5名 傍聴人数 1名

#### 6 議題

- (1) 令和5年度事業報告について
- (2) 令和6年度上半期事業報告について
- (3) (仮称) 第4次八千代市子ども読書活動推進計画(素案)について
- (4) (仮称) 八千代市立図書館サービス方針(素案)について
- (5) その他

#### 7 会議資料

- (1) 令和6年度第1回図書館協議会次第 ※当日配布
- (2) 八千代市図書館協議会委員名簿及び席次表 ※当日配布
- (3) 令和6年度上半期事業報告
- (4) 図書館年報(2024年度)
- (5) (仮称) 第4次八千代市子ども読書活動推進計画(素案)
- (6) (仮称) 八千代市立図書館サービス方針(素案)

発言者	発言内容
井澤課長	<p>皆様，本日はお忙しい中，お集まりいただきまして誠に有難うございます。</p> <p>それでは，定刻となりましたので始めさせていただきます。</p> <p>私は本日の進行を務めさせていただきます，生涯学習振興課長の井澤と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>なお，矢野委員及び天正委員におかれましては，少し遅れる旨の連絡をいただいておりますので，ご容赦いただければと思います。</p> <p>また，これからの進行，事務局からの説明，質疑応答につきましては，大変恐縮ですが，着座にて行わせていただきたいと思いますので，よろしく願いいたします。</p> <p>それでは，会議に先立ち，本日の会議資料を確認させていただきます。</p> <p>まず，事前に送付させていただいております，資料「令和6年度上半期事業報告」，「2024年度版 図書館年報」，「（仮称）第4次八千代市子ども読書活動推進計画（素案）」，「（仮称）八千代市立図書館サービス方針（素案）」，以上4点でございますが，お持ちいただけましたでしょうか。また，机上には「令和6年度第1回図書館協議会次第」，「八千代市図書館協議会委員名簿」，「席次表」を配布させていただいております。</p> <p>次に，傍聴人の方にお知らせいたします。会議資料の閲覧につきましては，会議中のみの閲覧に供し，会議終了後に回収させていただきますので，よろしく願いいたします。なお，傍聴人の方から会議資料の写しを希望される場合には，その際に，費用の徴収を行いますので，ご了承ください。</p> <p>次に，本会議は，八千代市図書館協議会運営規則第3条第2項により，委員の半数以上の出席で成立いたします。本日は，10名の委員のうち現状8名の委員にご出席いただいておりますので，会議は成立となります。</p> <p>この図書館協議会は，図書館の運営に関し，館長の諮問に応ずるとともに，図書館の行う図書館奉仕について，館長に対して意見を述べる機関でございますので，会議の中でご意見などございましたら，ぜひご発言の程，よろしく願いいたします。</p> <p>また，本会議は「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」</p>

<p>伊藤教育次長</p>	<p>に基づき、会議が公開となりますことから、会議録作成のため録音をさせていただいておりますので、ご了承願います。</p> <p>それでは、これより令和6年度第1回八千代市図書館協議会を開催いたします。初めに八千代市教育委員会社会教育担当教育次長の伊藤より、皆様にご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。</p> <p>皆様、こんにちは。</p> <p>社会教育担当の教育次長の伊藤でございます。</p> <p>本日は、お忙しい中、令和6年度第1回八千代市図書館協議会にご出席いただきまして、誠に有難うございます。</p> <p>さて、図書館は様々な資料や情報の提供を通じて、市民の皆様の学習支援及び生涯学習を行うために必要な施設であり、市が直営する2館と指定管理者による3館の合計5館が連携し、迅速な資料提供、レファレンスサービス等を行っております。</p> <p>また、おはなし会や各種講座等のイベントを行うことで、市民の皆様が利用しやすい図書館を目指すとともに、読書活動の普及に努めております。</p> <p>今年度は、第3次八千代市子ども読書活動推進計画及び第2次八千代市立図書館サービス計画の最終年度でありますことから、本日の議題にもなっておりますが、来年度からの次期計画の策定に向けて、準備をしているところであります。</p> <p>本日は、令和5年度の報告、令和6年度上半期の報告等を予定しております。委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見をお願いいたしまして、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。</p>
<p>井澤課長</p>	<p>有難うございました。</p> <p>次に委員の皆様をご紹介させていただきます。お名前をお呼びいたしますので、皆様には、一言お願いしたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">（委員紹介）</p> <p>委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。続きまして事務局を紹介させていただきます。自己紹介形式で行いたいと思います。</p>



次に、大和田図書館別館屋根等改修工事につきまして、老朽化する屋根からの雨漏り、外壁の汚損が見られることから、令和5年11月から令和6年3月まで、屋上防水及び外壁改修工事を行いました。

次に、中央図書館の臨時休館ですが、中央図書館に向けて、外部から電気を引き込む高圧ケーブルの不具合により、建物停電が発生し、1月24日から2月29日まで臨時休館となりました。停電により、中央図書館にある図書館システムサーバが使用できなくなったことから、図書館ホームページや貸出等を管理するシステムが停止し、大和田・八千代台・勝田台・緑が丘図書館では、開館はしてありましたが、予約取り置きされている資料の受渡し、資料の返却、館内資料の閲覧のみのサービス提供となりました。サーバ機器等を一時的に緑が丘図書館に移設し、2月14日から、中央図書館以外の4図書館での資料の貸出や予約、図書館ホームページを再開しました。高圧引込ケーブル等交換修繕及びサーバ機器等移設を行いまして、3月1日に中央図書館を開館しました。

最後に、中央図書館の自動出納書庫整備工事ですが、資料を効率的に保管するとともに、出納における利用者サービスの迅速化と作業の省力化を図ることを目的として、令和5年度より開始しました。令和6年度にかけての継続事業とし、令和6年度中に完成予定でございます。

以上を持ちまして、説明を終わります。

続きまして、館長から、各館の事業報告があります。

中央・大和田・八千代台・勝田台・緑が丘の順に報告をいたします。なお、大和田図書館と八千代台図書館は、市が直営で運営している図書館です。中央図書館・勝田台図書館・緑が丘図書館は、指定管理者が管理運営を行っております。それでは中央図書館よりお願いいたします。

井澤課長

ただいま、天正委員がお見えになられましたので、ご報告させていただきます。よろしくお願いたします。

片村館長

それでは、中央図書館より、昨年度のご報告をいたします。  
図書館事業といたしましては、図書館年報の27ページから28ページをご覧ください。

中央図書館は、八千代市立図書館サービス計画に示されていますとおり、「地域に根差したサービスを行う、市民に優しい図書館」を基本方針として運営を行っています。昨年度も幅広い利用者層を意識して、事業展開に取り組んできましたが、先ほど報告があった1月24日から発生した施設の大規模停電により、利用者の皆様には大変なご迷惑をお掛けし、申し訳ございませんでした。停電の影響により、図書館事業の中止をせざるを得なかったものもありますが、今年度に振り替えて、実施しています。それでは、昨年度の図書館事業の主なものにつきまして、ご説明をさせていただきます。

まず、おはなし会についてですが、中央図書館では毎日おはなし会を実施しています。図書館年報の事業報告にもありますように、「本だいすき！」の会など、ボランティアの皆様と協働して、開催をしています。毎日おはなし会を開催している図書館というのは、他の自治体の図書館と比較しても中々類を見ない試みで、図書館に来れば、何かイベントをやっているということコンセプトに始めており、月平均で300人を超える参加がありました。また、お子さんだけでなく、保護者の方にも新しい絵本の出会いの場として好評いただいています。

続きまして、中央図書館では、お子さんでも気軽に楽しめるプログラミング関連の事業を開催しています。27ページの「プログラミングロボット「こくり」をうごかそう！」や「プログラミングミニ体験会～STEAM教育で想像力を育てよう！～」などの事業が該当の事業です。中央図書館では3Dプリンタを所持しており、STEAMのイベントでは、実際にパソコンで立体模型の設計図を参加者に作成いただき、3Dプリンタで模型を作成していただきました。本日、実物をお持ちしましたので、後程、ご覧になりたい方はお手に取っていただければと思います。学習指導要領の改訂に伴い、今や小学校ではプログラミング教育が必須になっていることから、それに伴い、図書館でもお子さんと一緒にプログラミングに親しんでいただける機会を持っていただきたいということから、この事業に取り組んでいます。

続きまして、読書支援サービスとして、通常読書が困難な方向に向けて、こちらもお持ちしたのですが、活字の大きな大活字本やユニバーサル絵本というものがあまして、絵本の本文が点字で、絵本の絵のところは浮き上がって、触るとその形がわかるとい

った、ユニバーサルデザインの絵本を購入して所蔵をしています。今後も様々な利用者の方々のために、多様な事業に取り組んでまいりたいと思います。

最後に、こちらは中央図書館・勝田台図書館・緑が丘図書館の3館が主体となって取り組んでいる事業ですが、昨年度、第8回となりました「図書館を使った調べる学習コンクール」を開催しました。市内の小学校、中学校、高等学校、また一般の皆様への調べる学習を支援しています。昨年度は、市内合計でおおよそ4,000作品を超える応募があり、参加作品数としては、千葉県内では1位、全国でも6番目となりました。作品数だけではなく、全国コンクールでも優良賞など上位賞を受賞する作品が連続で出ており、また、全国では、選考外になった作品が八千代市は8年間一度もございません。こういったことから、作品の質も年々上がっていると感じています。こちらにつきましては、学校連携における先生方のご協力があったからこそ結果かと思われまいます。今後も図書館と学校との連携に努めてまいります。中央図書館からは以上でございます。

荒井館長

大和田図書館の令和5年度事業について報告いたします。

引き続き28ページをご覧ください。

基本方針につきましては、大和田図書館の一般室は大和田公民館との複合施設であるため、公民館との連携に努めています。また、児童室は同じ敷地内にある2階建ての別館で、隣が公園であることや別の建物であることから、親子での来館も多いため、児童や親子対象の行事に力を入れて事業を行っています。一般対象のイベントは、「ブックリサイクルフェア」と「新春福引」になります。「ブックリサイクルフェア」は7回開催しました。提供冊数は、合計で15,810冊、配布数3,431冊でした。こちらは解体した旧館の除籍本も提供したため、冊数が多くなっています。

「新春福引」は、雑誌の付録をくじ引きで配布しました。

続きまして、児童対象のイベントですが、おはなし会は毎週日曜日と毎月1回、主に市教研の日の午後に開催しています。また、「赤ちゃんと楽しむ絵本の会」と「親子で楽しむ絵本の会」は8月以外の毎月第2水曜日の午前中に開催しています。

新しい取組としては、「親子で楽しむ朗読会」と「手話のおはなし会」を開催しています。「親子で楽しむ朗読会」は4回開催していますが、このイベントは、市民の方の朗読ユニット「ゆらぎ」

が、ボランティアで行ってくれました。小学生以上が対象で、大人の参加もありました。参加した大人の方から、大人向けに朗読会を開催してほしいという要望があり、また、ボランティアのメンバーが入れ替わったことなどで、令和6年度は大人向けの朗読会に変更して開催しています。「手話のおはなし会」は、手話で絵本の読み聞かせをするイベントで、八千代市聴覚障害者協会の有志の方々がボランティアで行って来ています。1回目は12月、2回目は3月に開催しました。手話のみで、音声なしでの読み聞かせですが、手話が初めての子どもも大変喜んで参加していたので、令和6年度も引き続き開催をしています。

大和田公民館との共催事業は、「親子でチャレンジ」を8月と11月に、幼児の親子を対象に行いました。講師にアドバイスを受けながら和紙に絵を描くイベントで、完成した作品はおはなしコーナーで展示しました。

通年の事業としては、「50音ブックマイスター」を続けています。こちらは、読んだ本のタイトルの頭文字の五十音にスタンプを押していき、五十音全てにスタンプがそろうと図書館から手作りのプレゼントがもらえるイベントです

大和田図書館の令和5年度事業の報告は以上になります。

八千代台図書館の令和5年度の事業についてご報告します。

八千代台図書館は小さな図書館であり、多くの参加者を募る単発の講座が難しいため、「ちょこっと講座」と称しました、少人数の一般向け講座を複数回開催しました。また、2階児童室の親子での利用が比較的多いことから、児童向けイベントも工夫を凝らして開催しています。季節ごとの室内の飾りつけも好評をいただいています。

年報の29ページから30ページをご覧ください。主なイベントのご紹介となります。

「ブックリサイクルウィーク」は年2回開催し、提供冊数は、2,996冊、配布数2,307冊でした。

一般対象のイベントとしては、「雑誌ふろく抽選会」という、八千代台図書館で期間中、本・雑誌・視聴覚資料などを借りた方に、1回につき1枚の応募券を渡し、希望の付録に応募してもらい、後日抽選を行い、当選者に付録を差し上げるという内容のイベントに、延べ411名の方のご参加がありました。先ほど紹介した「ち

石川館長

よこっと講座」は、5回の開催で、手芸や伝統工芸など、様々な作品作りに挑戦して、関連資料を紹介する内容でした。

読書週間イベントとしては、「私のおすすめは、この1冊!」と称したイベントを開催し、お勧めの1冊を木の葉のカードに記入してもらい、一般室内に掲示をしました。延べ37人の参加があり、参加者には布のブローチをプレゼントしました。

児童対象のイベントとしては、「おはなし会」を毎週土曜日に、職員とボランティアの方とが交代で開催しました。また、「赤ちゃんと楽しむ絵本の会」は、8月以外の毎月第三水曜日の午前中に開催しました。

夏に「夜のおはなし会」を令和5年度に初めて開催しました。八千代台図書館の児童室は、基本的に17時までの開館となっていますので、普段は体験できない、夕方の18時～18時30分までの入室で、昼とは違う雰囲気、  
「だいくと鬼」「アナンシと五」「くらやみえんのたんけん」など、おはなしを大いに楽しんでもらいました。

子ども読書週間に合わせ、記念事業として「こどものともおみくじ」を開催し、くじを引き、該当する「こどものとも 年中向け」を貸出しました。「本だいす木」は、季節ごとにテーマを変え、子どもたちに多くのお勧めの本を紹介してもらいました。

八千代台図書館の令和5年度事業の報告は以上となります。

それでは勝田台図書館から報告させていただきます。

勝田台図書館は、皆様もご存じかと思いますが、勝田台地域の勝田台駅前にあり、市の公開している年齢別人口の統計データからかなり高齢者の多い地域にある図書館です。そのため、勝田台図書館の資料の貸出利用者の53%は60歳以上で、館内利用だけの方も8割がその年代という、高齢者のための図書館と言っても過言ではない様相を見せている図書館です。そのため、勝田台図書館は、高齢者向けサービスを主軸に、展示やイベントの実施、また、徒歩10分圏内に、小学校が2校、中学校が1校、高等学校が2校あることから、児童生徒の誘致を図る取組を行ってまいりました。実施イベントにつきましては、図書館年報30ページ、31ページをご覧ください。

この一覧の中で、高齢者向けの「認知症予防講座」は、勝田台地域包括支援センターに講師を依頼し、より実生活に沿った内容で参

池田館長

森本館長	<p>加を募ったところ、定員に近い参加があり、継続開催の希望が多くありました。そのため、令和6年度にも実施を決定しました。</p> <p>また、ティーンズ世代向けでは、今日見本を持ってきているのですが、従来は高校生が作成したポップという本の紹介カードに合わせて、図書館員が資料を集めて展示を行いました。</p> <p>それ以外に、昨年度、わせがく高等学校の勝田台キャンパスの生徒さん自身に、ティーンズコーナーのコーナーづくりをお願いしたところ、保護者やコーナーづくりを行った生徒の友人の来館があり、かなり反響がありました。</p> <p>一方で、勝田台図書館では新しいイベントや耳慣れないイベントを実施しても参加者が集まらないこともあり、一覧にあるとおり、図書館でよくあるおはなし会や工作講座、大人向けの朗読講座等、従来のイベントは、そのまま継続して実施しました。</p> <p>勝田台図書館からの報告は以上になります。</p> <p>それでは、緑が丘図書館の事業報告をさせていただきます。</p> <p>まずはじめに、緑が丘図書館の基本方針として、子育て世代、児童サービスに力を入れるということと、学校・地域との連携に力を入れることを基本方針として掲げました。</p> <p>児童向けの事業についてご説明します。32ページをご覧ください。32ページの上から3つめ以降が、児童向けのイベントとなっています。</p> <p>この中で、「おはなし会」は私どもも毎日おはなし会を実施しています。大体、月に24回程度の開催となりますが、それには「本だいすき！」の会をはじめとしたボランティアの皆さんのご協力が欠かせません。この24回の内の半数は、ボランティアの方が担当して下さっています。</p> <p>地元の企業との連携ということで、東葉高速鉄道との連携をこの5年間実施してきました。昨年度は「大好き！東葉高速鉄道」というテーマで、すごろく形式で、東葉勝田台から西船橋までのスタンプカードを作りまして、読んだ冊数のスタンプを押していくと西船橋に着くというものです。その他、東葉高速鉄道から、電車の顔をアップしたポスターを頂き、それを館内に掲示しました。そして、電車いっぱいのおはなし会をやりまして、電車に関する絵本を読み聞かせすることと、東葉高速鉄道に関するクイズを実施しました。</p>
------	---

それから、「こどもいけばな展」をやっています。これは緑が丘公民館で活動している伝統文化こども教室というサークルがあり、そこで年に1回生け花をするのですが、公民館で生けた生け花を、図書館に展示して頂くものです。その時だけは図書館の中の雰囲気が明るくなり、また、空気がきれいになるような気がします。去年は子ども20人が参加してくれました。

もう一つ児童向けのイベントで、「おはなしのプレゼント」があります。2人の絵本作家さんに来て頂き、お2人がこの時のためにコラボで絵本を作ったものを絵本作家さん自ら読み聞かせをして下さるというイベントです。

続きまして、一般向けのイベントですが、31ページの方に戻っていただきます。「DVD上映会」は年に5回実施し、主に名画と言われる古い映画を上映していますが、高齢の方に人気のあるイベントです。それに加え、「バリアフリー映画会」は年に1回開催しているのですが、聴覚障害のある方には日本語字幕が見えるのと、視覚障害の方には音声ガイドが入っているため、障害をお持ちの方も楽しめる上映会になっています。身体障害者福祉会の皆様にご協力頂き、まずは障害をお持ちの方に募集をかけて頂き、昨年度は8名、関係の方が参加され、その他一般の方も参加されています。

そして、学校との連携事業ですが、萱田中学校文芸部との連携をしています。文芸部の皆さんに図書館に来てもらい、おはなし会をやってもらったり、「カモノハしんぶん」という新聞を作ってもらい、図書館のティーンズコーナーに展示して、配布しています。おはなし会や新聞は、当館のスタッフがサポートして指導しており、かなり力を割いています。

出張授業ということで、先程、中央図書館から話がありました「調べる学習コンクール」に関して、小学校に行き、調べる学習の指導をさせていただいています。そして、町たんけんでは、昨年度は新木戸小学校、みどりが丘小学校の児童の皆さんが来館しました。先程申し上げた基本方針、子育て世代、児童向けサービス、それから学校、地域との連携に力を入れてきていますが、学校連携において、特に調べる学習コンクールの関係した連携が非常に大きな連携になっていると思います。

最後に、お子さんの読書意欲を高めるために、八千代市の5館で読書ノートを作っているのですが、緑が丘図書館では、読書ノート

<p>大木委員長</p>	<p>が10冊たまと、束ねて製本してあげるサービスを実施しています。以上です。</p> <p>有難うございました。</p> <p>ただ今の各館の皆様のご説明に対し、委員の皆様方、何かご質問、あるいはご意見ご感想などがございますか。お手を上げて、忌憚なくご発言よろしく願いいたします。</p> <p>はい、寒河江委員お願いします。</p>
<p>寒河江委員</p>	<p>はい、説明有難うございます。前回初めて出まして、今回2回目ですが、各館の地域の特性などを受けて、色々な事業、色々な会をされていて、本当に素晴らしいと思っておりました。今回も、手話のおはなし会や作家の方を招いてのおはなし会など、以前、緑が丘でもあったと思うのですが、夜のおはなし会を八千代台でされたりなど、色々連携されたり、工夫されているなど。中央図書館にしか行かないので、他の図書館の状況が分かっていなかったのですが、こうやって色々取り組まれているのは本当に素晴らしいなということ、調べる学習の基盤になっているということで、八千代市の中で貢献につながっていると感じました。前回も聞いたのですが、そういった色々な会、取り組みをどんなふうに新しいアイデアを考えられているのか、今後、こんなことをやってみたい、やっていこうということが有れば、教えていただければと思います。あともう1点だけ質問で、最初の全体の説明のところで、中央図書館の停電があったと思うのですが、私が普段利用している中で、かなり期間が長く停電で閉めていて、いつも停電があるとは思わないのですが、リスク管理的な部分で、今後に向けて対応をされたのか、単純に復旧だけでなく、その辺を対応・検討されているかどうかを教えていただけると助かります。以上です。</p>
<p>大木委員長</p>	<p>寒河江委員、有難うございます。</p> <p>今の委員のご質問とご感想について、事務局の方からお答えできるようであれば、お願いいたします。</p>
<p>片村館長</p>	<p>イベントなどのアイデアの出し方ということで、中央図書館からお話させていただきます。例えば中央図書館は、中学校等に出張のおはなし会等でお伺いするので、学校等に伺った時などに、実際に生徒さんから「どういったものがあると来やすいか。」といったア</p>

	<p>ンケートを取ったところ、中学校はなんと3割以上が本の紹介イベントという回答がありました。これについて、本の紹介イベントとはどういうことだろうと考え、例えば展示や図書館スタッフのおすすめ本の展示などを企画してみたり、あとは、イベントを行った後にアンケートを行い、こういった図書館イベントというものが求められているかを見ながら、イベントについては考えています。</p>
大木委員長	<p>有難うございます。他にございませんでしょうか。</p>
井澤課長	<p>停電の対応の関係でご説明をさせていただきます。まず初めに、期間が長くなってしまったことについて、皆様にご迷惑をお掛けしたところで、今後こういったことがないようにしてまいりたいと考えております。本来ですと、現在のシステムは今年度末で終了となっておりますが、この停電を踏まえまして、これまでの中央図書館にサーバを置いて、そこから各館へ繋げる方式、オンプレミス型でやっていたものを、次期からクラウド型にして、各館から直接データセンターに繋げる形で対応して、中央図書館で停電が起こったとしても各館業務に影響がない形を取るということで、令和7年の10月からの稼働を目指して、現在取り組んでいるところでございます。以上です。</p>
大木委員長	<p>よくわかりました。今の件でも構いませんし、他に何かございませんか。</p>
井澤課長	<p>矢野委員がお見えになりましたので、ご紹介させていただきたいと思えます。皆様よろしく願いいたします。</p>
大木委員長	<p>ありがとうございます。今、事業報告などを伺ったところなので、それについて質問を受けています。</p> <p>他にないようでしたら、続きまして、議題(2)の「令和6年度上半期事業報告」について事務局の方から、ご説明をお願いいたします。</p>
片村館長	<p>それでは中央図書館からご報告をいたします。</p> <p>中央図書館は、市内図書館の中核館として、利用者への貸出のほか、生涯学習支援施設としての役割を果たすということが基本方針として求められています。図書館での学習利用や図書館イベントの開催等、また300以上の閲覧席を確保していますので、滞在型の</p>

図書館としての特徴も併せ持ちまして、幅広い世代の皆様が現在利用をされています。そのため、常に幅広い年齢層を認識した上での図書館サービスの提供に努めています。

まず、事業内容として、子育て世代へのサービスということで、毎日おはなし会、また週に2回、託児サービスを開催していただき、お子さんを託児している間に保護者の方に読書を楽しんでいただくといった事業を行っています。

続きまして、学校連携として、中央図書館では団体配本サービスを行っており、学校への本の貸出、若しくは調べる学習や図書館の使い方等、出張授業等を受け付けています。今年は調べる学習の出張授業を小学校3校、中学校1校で行いました。また、絵本の読み聞かせ出張講座を市内の高校2校と、千葉市の高校から1件依頼がありましたので、行かせていただきました。

また、電子図書館の一部コンテンツ、読み放題パックがありまして、こちらを利用できるIDとパスワードを市内公立小中学校の全児童生徒の皆様が発行しており、朝の読書や授業等で使用できる体制を整えています。

続きまして、医療情報サービスの充実に努めています。医療情報の展示、医療情報講座等を行っており、毎年、大学、病院、訪問看護師会、地域包括支援センター等の各機関と連携を取り、専門の方による講座を開催しています。今年度上半期には、アンガーマネジメント、がんの治療と緩和ケア、発達障害について、小さな子どもの健康と救急対応など、テーマに幅を持たせた上で、様々な年代の方へ、健康を考えていただくきっかけ作りに努めています。

また、今後ですが、実は先日、福島県から協力依頼がありまして、3.11の地震以降、全国に避難をされている方が、福島県ではまだ2万人ほどいるそうで、そのうちの1,200人が千葉県に避難をされているそうです。千葉県は全国的で6番目の多さです。千葉県に避難されている1,200人の内、50名が八千代市に避難されているということです。福島県では、避難されている方に故郷の福島県の情報を発信するという事業を行っているそうです。それで、福島の今がわかる新聞が発行されており、また、地元紙福島民報と福島民友の新聞を中央図書館に置いていただけないかという協力依頼がありましたので、中央図書館に地元紙2紙を置き、情報紙を市内全館分50部ほどいただいたので、市内全館で配

<p>荒井館長</p>	<p>布を行うことにしました。</p> <p>中央図書館からは以上でございます。</p> <p>大和田図書館の報告をいたします。</p> <p>まず基本方針については、前年度に引き続き、公民館との連携に努め、児童や親子対象の行事に力を入れています。</p> <p>事業内容についてご説明します。児童対象のイベントは、「おはなし会」、「赤ちゃんと楽しむ絵本の会」、「親子で楽しむ絵本の会」を定期的に開催しています。夏休み期間には、「夏のおはなし会」を4歳から小学生を対象に、「わくわくおはなし会」を3歳くらいの親子を対象に行いました。また、「めざせ！なんもん クイズを作ろう」、「夏休み科学教室～煮干しを解剖してみよう～」、「手話のおはなし会」を開催しました。「親子で楽しむマジックショー」も開催しましたが、こちらは今年度初めての事業となります。大和田公民館でサークル活動をしています、八千代クラブの方たちが、ボランティアで手品を披露して下さいました。子どもたちもマジックを手伝い、参加型で楽しんで、マジックの後にはマジックや手品の本を紹介し、読んでもらいました。また、大和田公民館との共催事業は、「親子でチャレンジ」を8月と10月に実施しました。</p> <p>通年の事業としては、「50音ブックマイスター」を引き続き実施し、30人の参加がありました。</p> <p>保育園との連携は、大和田西保育園5歳クラスの来館おはなし会を6月から月1回で実施しています。なお、今年は熱中症の危険があったため、7月から9月は訪問で実施しました。</p> <p>一般対象のイベントは、「大人のための朗読会」と「ブックリサイクルフェア」の2つになります。「大人のための朗読会」は、4月、6月、7月、10月の第一日曜日の午後に、大和田公民館の講習室で開催しました。こちらは、今後12月、1月、2月にも第一日曜日に開催を予定しています。「ブックリサイクルフェア」も6月29日（土）の午後に、人数制限、冊数制限なしで大和田公民館の講習室で開催しました。提供冊数は2,878冊、配布数795冊でした。</p> <p>本の展示は、一般室、児童室ともに毎月テーマを変えて行っています。併せて、館内に季節の飾りつけを行い、利用しやすい環境整備に努めています。児童室では、おはなしコーナーの壁面に折り紙</p>
-------------	---

<p>石川館長</p>	<p>等を貼る飾り付けのお手伝いを，来館した子どもたちに随時参加してもらっています。</p> <p>大和田図書館の事業報告は以上となりますが，一般室があります施設の件につきましては，後程，議題のその他にて報告させていただきたいと思っております。以上です。</p> <p>八千代台図書館の報告をいたします。報告書の3ページをご覧ください。</p> <p>まず，「(1)基本方針」については，近隣の八千代台公民館との連携に努め，一般向けの講座をより強化する方向で事業を行っています。</p> <p>次に，「(2)事業内容」をご覧ください。</p> <p>児童対象のイベントは，前年度に引き続き，「おはなし会」，「赤ちゃんと楽しむ絵本の会」を定期的に開催しています。また，今年度から「親子で楽しむ絵本の会」を再開しました。絵本の会の参加者数を増やすために，公民館に協力を依頼し，1歳児親子学級等でチラシの配布を実施，それから近隣の幼稚園にてポスター掲示を依頼しました。</p> <p>夏休みに開催した「図書館クイズー妖怪みつけられるかなー」は，児童室に沢山の妖怪たちを配置し，図書館資料を駆使してクイズに回答してもらった内容です。親子連れに多く参加して頂き，妖怪ぬり絵をプレゼントしました。後半にはその参加者のぬり絵を探すクイズも実施し，児童室から子どもたちの歓声が聞こえるなど，とても盛り上がりました。</p> <p>また，昨年度に引き続き，「夜のおはなし会」を開催しまして，薄暗い児童室の中でのおはなし会で，「よるのあいだに」の読み聞かせから始まり，スポットライトの灯りのみで聞く素話の「さんまのおふだ」まで集中しておはなしを聞いてくれました。</p> <p>その他にも，ガチャを使用した「こどものともおみくじ」など，子ども達がワクワクするようなイベントを多く開催しました。</p> <p>一般向けには，「はじめてのつまみ細工」を開催しました。昨年度の「ちょこっと講座」の流れをくむ講座で，児童室で4名の募集で開催しました。日本の伝統工芸として知られているつまみ細工ですが，初心者の方でも時間内でとても素敵なブローチを作成されていました。</p> <p>先ほど申し上げた，八千代台公民館との連携事業として，「絵本</p>
-------------	---

がいっぱい 読み聞かせでたのしむハッピー子育て ～ザガズー広場～」。こちらは、元々「ザガズー広場」として、公民館の親子学級等で開催されていた講座ですが、谷川俊太郎さんが翻訳された「ザガズー」という、子育ての絵本を題材とした講座で、図書館の講座としても応用できるのではないかという構想を元々持っていたので、今年度初めて開催しました。生涯学習振興課の家庭教育指導員を講師として、「子育てトーク」や「ザガズー読み聞かせ」、  
「絵本読み聞かせ体験」などを実施しました。

そして「八千代の中世 ～口承文芸から考える八千代の戦国～」は、図書館では比較的少なかった郷土資料に焦点をあてた講座となります。郷土博物館の学芸担当でいらっしゃる勝見先生をお招きして、八千代の戦国時代を講話いただきました。当初から非常に人気があり、参加者の枠を広げましたが、そちらも早々に満員となり、多くの方が熱心に郷土史に聞き入っていました。

一般向けの講座も、会場内での関連資料の展示とブックリストの配布を実施し、図書館の利用を呼びかけました。

本の展示は、一般室、児童室ともに毎月テーマを変え、季節感を重んじた展示に心がけています。また、館内も季節の折々の飾りつけを行い、温かみのある雰囲気づくりに努めています。

この秋に、児童向けに「図書館クイズ」を実施し、回答した子にしおりをプレゼントしました。また、「ひみつの本にちょうせん」を実施し、図書館の本を1冊ずつ見えないように包装して貸し出しすることで、普段自分では選ばないような本に触れてもらう機会を提供し、参加者にはくじを引いて、びゅんびゅんどまなどをプレゼントしました。今後は「おにの本スタンプラリー」など、鬼が出てくる本を読んでもらうイベントを開催する予定があります。

一般向けには、読書週間に合わせて、「ブックリサイクルウィーク」のほか、「本を読んで手作りミニチュアグッズをもらおう！」を開催し、スタンプ6個を集めて、スタンプカードの裏面におすすめの本のタイトルと感想を記入してもらい、ミニチュアの籠や食べ物をプレゼントしました。

今後の予定については、11月27日に八千代台公民館との合同主催講座「座りすぎない健康づくり」を開催しまして、適度な運動の有用性、座りすぎのデメリット等を、やちよ元気体操を実践しながら、健康づくり課の理学療法士より講義を頂く予定です。

池田館長

また、1月にも母子保健課栄養士を講師に迎え、小学生の食育をテーマとした講座を予定しています。

八千代台図書館の報告は、以上となります。

続きまして、勝田台図書館から報告させていただきます。

報告書の4ページをご覧ください。

まず、基本方針については、令和6年度についても引き続き、高齢者向けサービスの充実を図るとともに、地域のボランティアの方との連携強化や、近隣校へ通う児童・生徒へ向けた児童向けのサービス、並びにティーンズサービスの充実を図り、幅広い世代への図書館の利用促進と発展に努めてまいりました。

報告書の11ページと13ページが勝田台図書館の実施している事業の一覧になりますので、報告させていただきます。

まず、高齢者サービスとして、昨年にも引き続き「認知症予防講座」を実施しました。昨年、この講座を実施した際にイベントアンケートを取ったところ、終活に関連する講座などを実施して欲しいというご意見があったため、5月と8月に「知っておきたい相続と遺言」という講座を千葉県金融広報委員会から講師を招き実施したところ、大変好評のお声をいただきました。

また、これまで実施していた「電子図書館の使い方講座」ですが、スマートフォンの操作の仕方も教えてほしいというご意見が多くあったので、ICT機器、スマートフォンやパソコンの使用に不安がある方へ向けて「インターネットを使った図書館利活用講座」を実施したところ、電子図書館の使い方の前段階として、操作の仕方が分かったので、これから自分でインターネットを使って図書館の本を予約してみたいという声を頂き、講座を開催する目標に達した内容になったと思っています。

次に、地域連携については、昨年にも引き続き朗読ボランティアに依頼し、朗読会の実施や文字を自分で読むことが難しい方へ、広報紙や図書館資料を読む「対面朗読」の実施、勝田台地域包括支援センターと連携して実施した認知症関連資料の展示のほかに、八千代市身体障害者福祉会の協力の下、実際に手話を使用される聴覚障害者を講師に招きまして、「中高生向けの手話体験講座」を実施しました。なお、聴覚障害者福祉会の方達は、体験講座や小中学校での授業は実施していても、中高生を相手に図書館で講座を実施するこ

とが初めてということで、福祉会の理事長や八千代市社会福祉協議会の職員なども見学に来られ、今後の連携の可能性を見ることができました。なお、八千代市の図書館5館では、先日、八千代市手話言語障害者コミュニケーション条例の施行6年を記念した連携展示を9月23日から1週間ほど実施しています。

次に、調べる学習コンクールの支援講座として、中央図書館と緑が丘図書館は出張講座で学校に行っているのですが、勝田台地域では申込がないので、図書館で支援講座を実施し、初めて調べる学習に取り組む児童向けに、児童向けの総合百科事典「ポプラディア」を教材として、「ポプラディアで遊ぼう」という低学年向けの辞書の活用の仕方や、「調べ方の基礎を学ぼう！」といった講座を実施したところ、保護者の方に大変好評で、児童が自力で辞書を引く、いい練習になったというご意見をいただきました。

また、今年度の広報の手段として、4月2日から、新たにInstagramのアカウントを開設しました。投稿内容は、あまりXとの差はないのですが、利用ユーザーの層が異なるのか、イベントや休館日の周知などを行ったところ、申込み増加や問い合わせの減少、休館日の問い合わせの減少に効果がありました。

今年度下半期につきましては、恒例の季節のおはなし会や、図書館ボランティア養成関連の講座、大人向けの華道教室の開催に加え、先日の高齢者向けの終活関連講座のほかに、ティーンズ向けの講座の実施も予定しています。

講座の開催については、館内のポスター掲示や広報やちよの他に、Xや4月に開設しましたInstagramもチェックしていただければと思います。

以上で勝田台図書館からの報告を終わります。

森本館長

それでは資料の5ページ目、緑が丘図書館の事業報告をさせていただきます。

初めに、基本方針について、昨年度と同様、今年も引き続き子育て世代向けのサービス、児童向けサービスの充実を図るとともに、学校や地域との連携にも力を入れてまいります。そして、「一歩踏み込んだ接遇」を目指して頑張っていきたいと思っています。

事業内容としては、おはなし会ですが、「本だいすき！」の会をはじめ、ボランティアの皆さんのご協力を頂き、土日祝日も含め、毎日おはなし会を開催できています。

その他、親子でわらべ歌を楽しむ「おやこでわらべうた」、英語の読み聞かせや絵本の内容を英語で楽しく表現する「こどもえいごこうざ」、科学講座として「わたしだけの『色図鑑』をつくろう」、これは、色の3原色の赤青黄、この3つの色だけを使い、子どもたちのセンスに合わせて、いろいろな色を作って、それを図鑑にしてもらおうということでした。その色に、自分独自の名前を付けながら楽しんでいました。

次に、児童サービスとして、「実食！防災ごはん」、ビニール袋でお米を炊いて、レトルトカレーを作って食べてみようというイベントです。それから「ぬいぐるみおとまり会」、これは6泊7日の長い間、ぬいぐるみを預かり、図書館でのお仕事をしてもらい、その様子をXやInstagramで毎日発信しました。最後に10枚の写真をアルバムにして、お子さんに渡してあげるといいます。その時は、お子さんも大喜びというお泊まり会です。

次に、近隣企業との連携として「だいすき東葉高速鉄道！」を今年も開催しました。すごろく方式のスタンプカードを作り、本を読む度にすごろくが進んでいくということと、それから「1日まるまる東葉高速の日！」ということで、東葉高速鉄道の運転席からの車窓風景をDVDにして頂き、1日中おはなし室で上映しました。子どもだけでなく、大人も楽しめる1日でした。

そして、今年も「図書館を使った調べる学習コンクール」を実施しています。その一環として、調べる学習について小学校2校、それから高校1校に出向いて出張授業を行いました。

その他、新木戸小学校のご依頼で、図書館の使い方についての出張授業をさせていただきました。タイトな授業時間をやりくりしていただき、こういう授業をさせていただいたことを感謝しています。

また、「職場体験」や「町たんけん」の積極的な受け入れなど、学校との連携においても力を入れています。

その他、萱田中学校文芸部のメンバーがボランティアで子どもたちへの読み聞かせをしてくれたり、ティーンズ向けの新聞を発行する機会も引き続き提供しています。

一般向けには、上映会や文学講座といったイベントで図書館利用の促進を図っています。

展示におきましては、中央図書館・勝田台図書館と連携して、同

じテーマで同時に行う合同展示と、同じテーマで3館を巡回していく巡回展示を行っています。今年は、7月から8月にかけて合同展示を実施しました。動物園というテーマで実施しまして、緑が丘では、緑が丘動物園というテーマで行いました。これも非常に人気のある展示でした。これと同時に3館を巡るスタンプラリーも行いまして、夏休み中の子どもたちにとっても好評でした。スタンプラリーで3館巡った子どもたちには、プレゼントとしてトートバッグを提供させていただきました。

緑が丘図書館の一般室の入口付近には大展示のコーナーがあり、それと書架の小展示を織り交ぜまして、今後とも魅力ある展示を行っていきたいと考えています。

なお、報告の資料には書いておりませんが、11月3日には、フルート奏者による鳥のさえずりの演奏、それと絵本の読み聞かせを組み合わせ、「さえずりのムジカ」というイベントを行いました。11月には、文学講座で「俳句を楽しもう」や、12月には、朗読劇、それから子どもいけばな展を行います。

最後に、今年で緑が丘図書館は20周年となりました。20周年の記念イベントとして、1日中、1日6回おはなし会をしました。おはなし会や、来館して下さった子どもたちに、おめでとう緑が丘図書館20周年ということで、色んな紙にメッセージを書いていただいて、それを図書館に貼って、桜の花が満開のような、そういうメッセージとなりました。

以上で事業報告を終わります。

大木委員長

有難うございました。ただ今の各館のご説明に対し、委員の皆様、ご意見やご質問、ご感想などありましたら、どうぞお手を上げていただければと思います。よろしく願いいたします。

寒河江委員お願いいたします。

寒河江委員

各館の説明有難うございます。先ほども含めてですが、色々点字や手話や大きい文字の本など、障害のある方への対応ということで大分取り組まれているなど聞いていたのですが、今、障害のある人と色々一緒に働いているので、気になって聞いておりましたが、八千代市にもかなり外国の方も結構いらっしゃるのかなと思っていて、外国の人向けに図書館を利用してもらうために、何か工夫されていることがあるのかどうかを教えて頂ければと思いました。

大木委員長	<p>今の件について、事務局の方お願いいたします。</p>
片村館長	<p>中央図書館からご回答させていただきます。</p> <p>外国の方は、中央図書館はさほど多いわけではないのですが、やはり何名かいらっしやっています。そういった方のために、カウンターでは翻訳機ポケットクがあり、しゃべっていただくと日本語に翻訳されてやり取りができます。あとは、カウンターに英語のコミュニケーションボードがあり、ボードを指さして頂くだけで、求めていることが分かるようになっています。</p> <p>中央図書館で、現在、中国語の利用者案内を作成し、ネイティブの方のチェックも済み、もうすぐ出す予定です。併せて、スペイン語、ポルトガル語版も現在作成中です。また、英語の利用案内については、再度ネイティブの方に内容の確認をしておりますが、図書館の利用に中々行きつかないので、分かりやすい利用案内が必要かと思っておりますので、整理していこうと考えています。以上でございます。</p>
大木委員長	<p>有難うございました。一旦ここで休憩を取らせていただきます。5分間休憩いたします。</p> <p style="text-align: center;">—休憩—</p>
大木委員長	<p>今までのところで何かありましたら、議題（3）、議題（4）が終わった時点でまたまとめて皆様のご意見などをお伺いしたいと思います。</p> <p>続きまして、議題（3）の「（仮称）八千代市第4次子ども読書活動推進計画（素案）」について、事務局の方から、ご説明をお願いいたします。</p>
武田主査補	<p>それでは、「（仮称）八千代市第4次子ども読書活動推進計画（素案）」について説明いたします。</p> <p>この度、第3次八千代市子ども読書活動推進計画の計画期間が令和6年（2024年）度で終了することから、その基本方針を継承し、子どもの読書活動の更なる推進を図るため、「（仮称）第4次八千代市子ども読書活動推進計画（素案）」を作成しました。</p> <p>なお、計画期間につきましては、皆様のお手元の資料では4年間</p>

とさせていただきますが、上位の計画が策定途中のため、変更することがございます。委員の皆様には、今回の協議会の資料として、素案を先に配布させていただいています。

第3次からの変更箇所について説明いたします。

まず、「第1章 計画の策定 1 計画策定の趣旨 【計画の性格】」は、どれが国・県・市の計画かを分かりやすくしました。なお、国の計画は新たに第五次になりましたが、県の計画は現在策定中で期間が前後するため併記しています。

「2 計画の位置づけ」は、図書館サービス計画の来年度からの策定がなくなる予定ですので、記載を削除し、図も削除しました。

「5 計画の効果的な推進のための体制」は、子ども読書活動推進のための役割を、図を用いて分かりやすく記載しました。

「6 持続可能な開発目標（SDGs）への取組」は、今までは「4 質の高い教育をみんなに」のみでしたが、新たに「16 平和と公正をすべての人に」、「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」を追加しました。また、図と説明を追加し、カラーSDGs一覧は削除しました。

「第2章 現状と課題 1 子どもの読書活動を取り巻く状況」は、(1)の国の子ども読書活動の推進に関する基本的な計画が、第4次計画から第5次計画になりました。

また、(2)を県の「千葉県子どもの読書活動推進計画」（第4次）として追加しています。

第3次計画で(5)として記載していた、情報通信手段の普及・多様化は削除し、新たに(6)子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究報告書の公表を追加しました。

「2 第3次計画の成果と課題」につきましては、成果のみの記載だったため、現状の数値と課題を追加しました。

「第3章 計画推進の方策 1 基本方針」は、「第4次八千代市子ども読書活動推進計画」の体系について、新たに追加しました。

「2 子ども読書活動推進のための取組」は、各取組の説明を一部変更しました。なお、個別取組の変更については、新規取組は図書館の4項目です。

「No.24 図書館展示の充実」子ども向け図書の展示を、子どもや保護者への読書に対する関心と理解につながるよう定期的に行

います。

「No.25 読書手帳の配布」読んだ本を記録することにより、本を読むことに達成感を感じることで読書意欲が向上することを目指し、読書手帳を配付します。

「No.26 外国語と多文化に親しむ図書の充実」日本語を母語としない子どもが読書に親しむことができ、日本の子どもも多様な文化に触れる事ができるよう、中央図書館で外国語図書等の収集に努めます。

「No.27 電子図書館の活用」情報のデジタル化などの社会変化を踏まえ、子ども向けの電子書籍を揃えて、電子図書館の整備を進めます。

また、継続取組は38取組で、取組内容を更新したものが一部あります。なお、削除した取組はありません。以上です。

委員の皆様からご意見をいただきたく存じます。よろしくお願いいたします。

大木委員長

はい、有難うございます。子どもに関する事が多いので、ご質問は例えば小学校の先生や子どもネット八千代さんなどからご意見やご質問を伺えたらより良いと思うのですが、いかがでしょうか。

今の第4次八千代市子ども読書活動推進計画について、子どもと関係している活動でない方でも、ご質問や何かご意見がありましたらどうぞ忌憚なくご発言、よろしくお願いいたします。

天正委員

市内にいくつか小学校中学校がありますが、満遍なくというか、偏りってどうですかね。小学校それぞれに色んな内容が行き渡るような、学校によって関わりの多いところ少ないところ、地域にもよると思うのですが、例えば小学校と中学校が一緒になっているようなところもあり、気になっているところです。要するに、それぞれ立地の問題もあると思うのですが、小学生中学生の子を持つ親として、図書館としても、学校に向けて色々と動いたり、例えば学校に来てもらったりというところで、偏りなく行き渡っているのかを教えてくださいたいです。

大木委員長

そうですね、子育て中の方は特にそういう関心があると思うのですが、いかがでしょうか。事務局の方では学校や幼稚園、保育園とか、子どもネット八千代さんみたいに市民活動をしている子どもと

	<p>関りのある方達と、どのように連携して、活動を活発化させていくのか、図書館はどう関わろうという思いが有られるのか、今の発表と絡めて、何かありましたらよろしく願いいたします。</p>
天正委員	<p>学校の名前も全ての名前が出ているわけではないですし、他にも学校は有るわけで、うちの子はそういうようなところに通っていますので、そう思います。</p>
大木委員長	<p>いかがでしょうか。各学校は、地理的な問題があるのかもしれないですし、学校側の色々と都合もあるのでしょうけども、学校の先生方はどうでしょうか。では長島委員お願いいたします。</p>
長島委員	<p>いつもお世話になっています。小学校の立場から申し上げますと、先程、緑が丘図書館からお話があったように、色んな面で図書館の説明や調べる学習コンクールのレクチャーなど、子ども達にとって勉強になる場を提供頂いています。ただ、天正委員がおっしゃったように、新木戸小学校は学区の中に緑が丘図書館があるので、来て頂きやすい、また、子どもたちが自分達でも行きやすい環境もあるとは思いますが、一方で、遠い学校についても出張で授業をして頂いたり、あるいは先程説明があったとおり、電子図書館、タブレットで色んな本を借りられたり、読めたりということも充実して頂いているので、学校としてもなるべく図書館と密に連携を取っていきたいと考えています。</p> <p>併せて、学校だけではなく、例えば学童や放課後子ども教室との連携も含めて、国語で働く自動車という勉強をする時に、自動車の本がこれだけあるというのを紹介してもらえるとといった学習とリンクした提案など、これをやってみたいなと思うものを色々と提示をしていただけると、更に充実していくと思うので、学校としても努力していきたいと思っています。</p>
大木委員長	<p>有難うございます。少し目の前に具体化して浮かんでくるようですが、その他何かございますか。事務局は今のご意見に対していかがでしょうか。</p>
荒井館長	<p>図書館としても、学校との連携についてはこれからも力を入れて、市内全ての学校と連携を取りながら活動をしていきたいと思っています。まだ課題も色々ありますが、この計画を基に進めていき</p>

<p>片村館長</p>	<p>たいと思っています。</p> <p>補足させていただきます。中央図書館としては、毎年校長会で調べる学習関係のお話をさせて頂いていますが、今後、団体配送や出張授業でできることなどを各学校の校長先生にもきちんとお話しできればと思っています。</p> <p>また、先程お話ありました電子図書館についても、読み放題パックの種類を来年度また新しいものを購入するなど、オンライン的なところで、どこの学校でもタブレット一つあれば電子図書館が利用できるというところで、充実に努めていければと思っています。</p>
<p>大木委員長</p>	<p>よくわかりました。他に何かございましたらどうぞ。</p> <p>はい、飯田委員。</p>
<p>飯田委員</p>	<p>はい。21ページに、新規の事業を4つ記載されていて、削除項目なしという事だったと思うのですが、26の外国の方への対応とか、電子、デジタル化、特に社会全体でデジタル化への推進と言われているので、電子書籍を準備するとか、オンライン資料へのアクセスも出来るようにするとか、今どんどん求められているので、そういう対応をしていく必要があると思うのですが、今人手不足で、働き方改革と言われる中で、新規事業があっても、削除がなしという事が、相当職員の皆さんに負担や苦勞がかかるのではないかと推測するんですね。</p> <p>感想ですが、私たちが図書館に行った時に、図書館の職員の方達が笑顔で元気で働いている姿が、また行ってみたいという気持ちに繋がるので、出来れば削除するものがあるのもいいと思いますし、指標の数値も上げるのではなく、現状維持を目指すとか、上手く仕事の量の調整もしていいと思いました。</p> <p>以上です。</p>
<p>大木委員長</p>	<p>ご感想有難うございます。切実な問題かと思うのですけれども。他の委員の皆さんはいかがでしょうか。無いようでしたら、次の議題(4)に移らせていただいてよろしいですか。</p> <p>議題(4)は「(仮称)八千代市立図書館サービス方針(素案)」について、事務局の方からご説明をお願いいたします。</p>
<p>石川館長</p>	<p>それでは、「(仮称)八千代市立図書館サービス方針(素案)」</p>

につきまして、私の方からご説明いたします。

この度、第2次八千代市立図書館サービス計画の計画期間が令和6年（2024年）度で終了することから、図書館サービス計画を引き継ぐような形で、「計画」を「方針」と改め、図書館サービスの更なる推進を図るために、「（仮称）八千代市立図書館サービス方針（素案）」を作成しました。委員の皆様には、今回の協議会の資料として、素案を先に配布しています。

まず、「計画」を「方針」と名称を改めた経緯についてですが、平成24年に文部科学省が作成した「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」において、市町村立図書館は、「その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針を策定し、公表するよう努めるものとする。」また、「市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するよう努めるものとする。」と示されました。

八千代市立図書館としても、その基準を尊重し、また、元々策定されていた「八千代市立図書館サービス計画」自体が方針としての側面が強かったということもあり、基本的な構成を継承した上で、「八千代市立図書館サービス方針」として、策定を目指したことによるものです。

今後は毎年度の協議会において、翌年度の事業計画を示し、その翌年度の協議会において前年度の事業計画の結果に対し、ご意見を賜る方向で考えています。

「第2次八千代市立図書館サービス計画」からの変更箇所についてご説明いたします。

資料の3ページをご覧ください。「2 計画の位置づけ」について、上位計画たる「八千代市第5次総合計画（後期基本計画）」、「八千代市第4期生涯学習推進計画」、今回お渡しした資料の中に記載がなく、パブリックコメントに提供する資料において訂正させて頂きますが、「第4期八千代市教育振興基本計画」。これらの計画の下位に方針があるものと位置づけており、「第4次八千代市子ども読書活動推進計画」とは並列の位置関係で、相互に関連するものとしています。また、「八千代市立図書館サービス方針」の下

	<p>に、各図書館の単年度事業計画を位置づけるものとします。</p> <p>「3 方針の期間について」、 「第2次八千代市サービス計画」では、上位計画に合わせて4年間としていましたが、「八千代市立図書館サービス方針」においては、令和7年度から令和16年度までの10年間を対象期間として、上位計画の見直しの際、あるいは社会情勢や市民の生涯学習ニーズの変化等へ対応する」ため、適宜見直しを図るものとします。</p> <p>23ページをご覧ください。取組方針の追加となります。「(5)自動出納書庫の活用」について、令和6年度中に中央図書館に設置される自動出納書庫を活用することで、各地域図書館の収容冊数を適正にし、それぞれの地域図書館の実情に合わせた図書館づくりを実施する内容を新規に追加しました。</p> <p>その他の内容につきましては、概ね「第2次八千代市立図書館サービス計画」の内容を引き継いでいます。以上となります。</p> <p>委員の皆様からご意見をいただきたく存じます。よろしくお願いいたします。</p>
大木委員長	<p>有難うございました。ただいまの「(仮称)八千代市立図書館サービス方針(素案)」に対しまして、委員の皆様方、何かご質問、ご意見などございましたら、よろしくお願いいたします。</p> <p>子どもネット八千代の内田委員さんはいかがですか。今までのことだけじゃなくてもよろしいですけども。</p>
内田委員	<p>私は、図書館を日常的にはあまり活用していませんが、今回色々とお話を聞いて、すごく進化していることと、うちの活動と関係して出来るところはないかとお話を伺ってまして、中央図書館の3Dプリンターの話とかすごく興味深々で、あと学生さんがポップを作るとか、プロのお仕事されている方の仕事体験ができる子ども達に興味を持ちました。</p> <p>先ほどの報告書にも、読書体験が子ども達の認知能力を育てるという話があったと思うのですが、私たちの活動の中で、一つ大きなやっていることが、生の舞台を見るという活動なのですが、実は、去年も今年も原作が絵本や児童書で、去年は「虎の恩返し」という朝鮮民話が原作になっている劇を村上体育館で上映して、今年はい先日、八千代市市民会館で人形劇団ひとみ座さんという、ひょっこりひょうたん島の老舗の劇団をお招きして、「9月0日大冒険」</p>

という児童書を原作とした劇を上映しました。

アンケートでは、何故これを見に来たかという質問に、原作に興味を持ったという、結構そういったアンケート結果があって、私たちもすごく興味深く捉えていたのですが、例えば劇のチラシをその本と一緒に図書館で置いてもらうなど、そのように連携したら、もしかしたらもっと沢山の子供達に見てもらえたんじゃないか。その時300人位で見れたのですが、大ホールいっぱいにする事もできたのではないかと後から気付きました。一つの体験が、読書の体験が観劇の体験に繋がったり、文化的な体験は、とても大事だと思うので、お芝居を見に行くにはお金を払わなければならないのですが、図書館でそういう体験を無料で出来ることで、格差がなく行えることだと思うので、図書館の存在も大事だと思いました。

ですが、図書館を利用している人は割と一部の人かなという印象があります。私の息子は野球をやっていたのですが、図書館に行ったことないだろうなという子もいっぱいいるので、そういう世界もあることをもっと普段の教育の中から周知できて、色々な体験が子どもに満遍なく届くようになると思います。

今回の報告を伺って、図書館も進化していると実感したところです。有難うございました。

大木委員長

有難うございます。リアルな話を伺って、今そんな活動を子どもネット八千代さんがやっていて、絵本とリンクしているんだとよく分かりました。私も子どもが学校を卒業してから何十年も経っているのですが、小学校や中学校に学校図書室がありますよね。そこで、司書の先生がいれば、図書館には本がもっと沢山あるという話をして誘って頂けたら、図書館に、息子さんのお友達も行かれるかもしれないと今お聞きして思いました。学校や市民活動団体など、色々な所が窓口になり、アプローチして図書館と繋がっていったらいいのではないかと思います。

今の話の件に関して、何かありますか。今の話でなくても、感想とかでもいいのですが。はい、事務局お願いします。

石川館長

貴重なご意見有難うございます。確かに図書館を利用していない方は非常に多いと私も日々の業務の中で感じているところですので、先程から多角的な連携というのは、職員、事務局の者全てが強調していると思いますが、出来る連携については、可能性を今後

<p>大木委員長</p>	<p>とも探っていきたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>有難うございます。その他委員の皆様ございますか。今日は盛り沢山の議題がありましたので、一つ一つ頭の中に整理するのも大変ですが、せっかくお集まり頂きましたので、貴重な体験や活動をされている皆さんだと思いますので、1回もご発言するチャンスがなかった方達に、お一言ずつ頂きたいと思います。近くからで、中村委員さんお願いします。</p>
<p>中村（史）委員</p>	<p>はい、今日は有難うございました。各図書館の色々な取り組みを聞かせて頂いて、日頃から図書館のお便りは色々学校に届くので、こんなイベント有るのだなと感じていたのですが、改めて図書館で色々な取り組みをしているのだなという感じで、行きたくなった感じがしました。</p> <p>本校は中学校なので、先ほど野球の話もありましたが、部活動があったり、中学生も中々忙しくて図書館に行くというのが難しく、私自身も中々行けないのですが、ふと、土曜日に学校行事があって、月曜日が振休の時に図書館で過ごしたいなと思ったら、月曜日休みなんですよね。そこが一番のネックで、変えることができないところかと思うのですが、自分が休みの時に丸々1日図書館で過ごせたらいいなと。月曜日にうっかりして中央図書館の前まで行ったこともありました。というくらいで、中学生もそういう意味で、行くチャンスが難しいところがあるのですが、それでも片村館長とか毎年学校にもお越し頂いて、調べる学習コンクールについて熱く語って頂き、本校も人数は少ないのですが、全員が参加し、図書に触れることを子ども達にも意識させて、本校の国語科や図書室担当の職員もそれを機に本の話とか、先程も話がありましたが、学校図書館に無い本も緑が丘図書館や中央図書館に行ってみたらと促しているところなんです。年報を見ても、丁度中学生くらいの登録の割合が少なく、これが現状なのかなと思いますが、色々なイベントをやっていることや、調べる学習コンクールは内容が自由なので、子ども達も楽しんでやっています。そういうところで、図書館と繋いでいけたらと思っている次第です。</p> <p>図書館に私も行って、こんなのが楽しかったというような、大人が伝えるということも大事かなと思うので、チラシはもちろん子どもたちに見せているのですが、実際に行こうだったよ、行って</p>

<p>大木委員長</p>	<p>ごらんというスタンスで、これからも図書館と関わっていきたくと思いますので、今後もよろしく願いいたします。</p>
<p>築山委員</p>	<p>有難うございます。お隣の築山委員はいかがでいらっしゃいますか。大和田公民館と大和田図書館はすごく近いですね。機会があれば利用されていると思うのですが、いかがでしょうか。</p> <p>私もこの年までに、3人程、すごく本が好きな人達に巡り合っていて、私もいいなと思って読むのですが、途中で眠くなったり最後まで読むことが億劫だったのですが、この年になって初めて本が、ましてや図書館がすぐ近くにありますが、今回の「光る君へ」というテレビの前に図書館に行って、源氏物語や枕草子を読みました。</p> <p>そうしたら「光る君へ」が楽しくて、一度も欠かさずに見てるのですが、図書館には、すごく今お世話になっています。</p> <p>もう一つ、私のところには、いつも2、3冊図書館の本がありますが、中を見ないで後ろの部分や大体のことを書いてあるところを見て借りてくるのですが、それを忘れて読んでいると、所々汚い本に出くわすのですが、本を返す時にすごくどきどきします。本が汚れてたり、字が書いてあったりするのを、その都度言うのも嫌だなと気になっています。</p>
<p>大木委員長</p>	<p>そうですね。お聞きしたかったのですが、汚損された本に関して、そういう場合、受付に言った方がいいのでしょうか。</p> <p>事務局から何かありますでしょうか。</p>
<p>石川館長</p>	<p>ご意見どうも有難うございます。おっしゃられるとおり、書き込みや汚破損本であるなど、昔からの図書館の課題の一つでもあるのですが、そういった資料を多くの皆さんに提供させていただくという都合もありますので、遠慮なくお申し出頂き、汚れているとか水濡れありといった表示、借りられる方向けの注意書きということでそのようなシールを貼る対応もしていますので、是非そういったものを見つけられましたら、カウンターまで教えていただければと思います。</p>
<p>大木委員長</p>	<p>有難うございます。それでしたら自分が汚したのではないけど、これ汚れてましたというふうに言えばよろしいですね。</p>

<p>矢野委員</p>	<p>では、本だいすき！の会、矢野委員お願いいたします。</p> <p>私は、中央図書館、緑が丘図書館、勝田台図書館でおはなし会をさせてもらっていますので、本当に図書館にはお世話になっています。</p> <p>中央図書館では、隣に陸上競技施設があるので、サッカーのユニフォームを着たまま、おはなし会に飛び込んでくれる子ども達がいる、夏場は丁度、館全体が休憩場所という形で取り組まれていたと思います。</p> <p>そういう関係もあるのか、夏場は結構、本が目的ではなく、休憩みたいな感じで来られた親子さんもいたりするのですが、私達も“ここだ”と思っておはなし会をさせてもらって、大抵の方は来て良かったですと言ってくれます。</p> <p>本を借りるところまでいけてるかどうかは私たちにはわからないのですが、おはなし会に来て良かったですという声は聞かせてもらっているのです、こういった地道な活動が、必要なのかなと思っています。</p> <p>スポーツしている子には「スポーツの本もあるよ」と声をかけたりするのですが、どうしても練習が忙しかったりで来れないというのがあるかと思っています。</p> <p>先日は、「どうぞのいす」というお話を読もうと思って大型絵本を持っていたら、ユニフォームを着た幼稚園の男の子が、今度お遊戯会でそれをするので聞きたいと入ってきて、お母さんも「どうぞのいす」を知らなかったの、初めて聞かせて頂きますという感じでしたので、中央図書館は、横がスポーツ施設ということではじめは「ん？」と思っていたのですが、そういった子ども達を取り込めるのかなと思っています。</p> <p>他の図書館は、本と言って聞きに来てくれる、緑が丘などはそうかなと思うのですが、中央は他の図書館とは違って、少し異色な感じがして、私たちも取組方を変えているのですが、どんどん子ども達に本を届けていきたいと思っています。</p> <p>また、学校や学童でも本を読ませてもらうのですが、自分が聞いて良かったと思う本は、「その本学校にある？」とか「どこにいったらいい？」と聞かれます。その度に、「これ八千代台図書館から借りてきたよ」などと伝えるのですが、カードの作成までお子さんがいってくれたらいいかなと思っています。おはなし会が終わ</p>
-------------	--

	<p>った後は、必ず沢山の子がそういう事を聞いてくれます。</p> <p>あともう一つは、放課後デイの子達がおはなし会を聞きに来てくれたことがあるのですが、その子達から、「自分達は図書館に行きにくいから放課後デイにおはなし会に来てください」と言われて行ったりもするのですが、そういった放課後デイや学童などにも、学校以外でも色々な催しがあるということで伝えてもらえるといいのかなと思いました。</p> <p>話は変わりますが、「カードがスマホとかには入らないのですか？」ということを知られたことがありました。今、PASMOとかカードが全部スマホに入っているので、そういったことはまだないんですかねということをお母様から知られたことがありました。以上です。</p>
大木委員長	<p>そうですね、バスでもね。そこに変わるのはどうでしょうか。</p>
三澤主任司書	<p>お答えいたします。スマートフォン等にカードが入らないのかということについて、現時点においては、図書館で使っているバーコードを読み取るリーダーが液晶画面に対応していないので、直ぐに導入することができないのですが、今後、対応する機器に入れ替えるということを現在検討していますので、将来的にはそういった方向も検討しています。以上となります。</p>
大木委員長	<p>有難うございます。マイナンバーカードとか、色々出来そうなイメージは沸くのですが、これからの課題の一つかもしれないですね。</p> <p>その他、月曜日が休館ということで、振替休日に図書館が休館だったことが私もあったのですが、かつて住んでいた市では、他の館は休んでいるのですが、ある1館だけ月曜日は開館していました。それが可能なのは別として、すごく助かるのですよね、1館だけ開いていると。それは働き方改革ではまずいかもしいかなので、何とも言えませんけども。</p> <p>市民委員として来て下さっている中村委員はいかがですか。</p>
中村（唯）委員	<p>色々お話を聞かせて頂き、ご報告等も頂き、有難うございました。私は、緑が丘図書館をよく利用させてもらい、色々な催し物に参加させてもらったことがあって、もちろん中央図書館などでも違うものもやっているというのを知ってはいたのですが、図書館によ</p>

<p>大木委員長</p>	<p>ってカラーがすごく違うのだなということをお話を聞かせてもらい、初めて知りました。</p> <p>ですので、もし可能であれば、緑が丘図書館でも他の図書館のやっているものが、パッと見て分かるというようなものがあって、他の地域の図書館にも足を運べたら嬉しいなど、感想ですけれども感じました。</p> <p>有難うございます。そろそろお時間なのですけれども、たくさんの議題がありましたが、最後に、質問とか感想がありましたら、アイデアでも何でも良いので、委員の皆様方、どうぞご発言をよろしくお願いいたします。</p> <p>皆様のお声は聞かせていただいたと思うのですが、お話してない方はいらっしゃいませんよね。言い足りなかったり、要望だとかございましたらどうぞ。</p>
<p>内田委員</p>	<p>私達子どもネット八千代は、1年後くらいに、図書室を舞台にしたお芝居をやる予定になってまして、劇団かぜのこさんという劇団の「ザチェンジ図書室の隙間から」という舞台劇をやる予定になっています。会場などはこれからの手配になるので、まだ詳細は決まっていますが、今いらっしゃる方達だったら興味を持って見ていただけるんじゃないかと思ひまして、告知だけさせていただきました。有難うございます。</p>
<p>大木委員長</p>	<p>告知ありがとうございます。</p>
<p>内田委員</p>	<p>小学校でもチラシを配布させていただくと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>大木委員長</p>	<p>楽しみです。次に「議題5 その他」について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>荒井館長</p>	<p>大和田図書館から報告事項があります。現在の大和田図書館の一般室がある建物は、今から5年前の令和元年度に建設しました。</p> <p>旧大和田図書館本館は、築50年以上が経過して、平成30年度の耐震診断において強度が不十分との結果であったため、同じ敷地内に、同じく老朽化の問題がありました大和田公民館との複合施設として、令和元年10月から5年間のリース方式で利用してきました。</p>

	<p>令和6年9月末のリース期間の終了にあわせて、「大和田図書館・公民館複合施設の恒久的なあり方」を決めるべく、協議会委員の皆様には3月19日付文書にてご意見を伺ったところです。</p> <p>その後、市の公共施設についてどのように対応していくかを検討する「令和5年度第3回八千代市公共施設再配置等推進委員会」において、恒久的に利用していくことの方が効果的であるということで、仮設ではなく本設として利用していくということが決定され、市長決裁を経て、10月以降は本設として使用していますことをご報告させていただきます。以上です。</p>
大木委員長	<p>今の5番に関して、今のお話をお聞きになってご質問などはございますか。</p> <p>(無し)</p>
長谷川主任主事	<p>次回の図書館協議会を来年の2月下旬から3月上旬に予定をしております。近くなりましたら、日程調整のお手紙を送らせていただきますのでよろしくお願い致します。以上です。</p>
大木委員長	<p>よろしいでしょうか。2月か3月のいずれかの日にまたここであるという事ですね。</p> <p>他にないようでしたら、令和6年度第1回図書館協議会をこれにて終了いたします。</p> <p>皆様、本当にお忙しい中、誠に有難うございました。</p>